

好生館だより

KOSEIKAN DAYORI

2017

[メッセージ]

理事長のあいさつ、館長から一言
.....p1

[好生館ニュース]

第1回鍋島直正公記念好生館
シンポジウムを開催しました 他.....p2

[診療科の紹介]

形成外科、歯科口腔外科、
糖尿病代謝内科、血液内科p3

看護部だより.....p4

栄養の豆知識、
知っていますか？検査の話.....p5

感染制御部だより、医療安全管理部だより、
医療支援部だより.....p6

開放型病院登録医のご紹介.....p7

地域医療連携センターだより、
一般・がん相談支援センターだより.....p8

チョーライ病院と友好交流、
新任医師の紹介p9

歴史コーナー、
さがランチ 冬メニュー紹介p10

外来医師一覧表.....p11



好生館全景



地方独立行政法人
佐賀県医療センター **好生館**
SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN

SINCE 1834

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
TEL.0952-24-2171(代表) FAX.0952-29-9390
<http://www.koseikan.jp/>



理事長のあいさつ

理事長

中川原 章

新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

幕末(天保5年)に、鍋島直正公により創設された私達の「好生館」は、今年183年目を迎えます。

本年が皆様にとって健やかな年となりますよう心より祈念いたします。

今年の干支は「酉」です。酉はにわとり(鶏)を意味し、鶏は武士が備えるべき5つの徳「知・信・仁・勇・厳」を持っているとのこと。酉年生まれの2017年の運勢は、「チャレンジによって道が拓ける年」ですが、この酉年生まれの職員にあやかって、今年の好生館は、チャレンジをすることで、新たな道を切り拓いていきたいと思えます。

好生館は、現在、着々と内部改革を進め、より一層県民に信頼され、そして、親しまれる地域の基幹病院となるよう努力しています。その

方針は、病院に来られた患者さんを治すだけでなく、地域社会と密に連携し、より地域の皆さんの生活に密着した支援を行うことです。たとえば、在宅緩和ケアやホスピスにおける支援活動や、講演会・研修会等での啓発活動、県民公開講座、地域医療連携懇談会などを積極的に開催すると共に、昨年から地元と共催の「夏祭り」や、好生館の生みの親でもある鍋島直正公にちなみ、「第1回鍋島直正公記念好生館シンポジウム」も開催しました。

豊富な人材と健全な経営を通して、県民の命と健康を守り、さらには県民が生き甲斐を感じることでできる社会作りに貢献するため、今年も好生館はさらに飛躍していきたいと思っています。

どうぞよろしく願い申し上げます。

館長から一言

館長

樗木 等

平素より好生館がお世話になっています。

新春のお慶びを申し上げます。今年の干支「酉」にちなみ、はばたける年であるように祈念いたします。

昨年は熊本震災、気候温暖化、強い大型台風、福岡の地盤沈下などなど災害対策に向けての取り組みの必要性を強く感じました。また、診療報酬改定対策、地域包括ケア策定、公立病院改革プラン作成、医療事故調査制度対策など多くの課題に対応しました。中でも医療安全は重要課題で、安全な医療提供は全てに優先します。今後も安全対策に万全を期して参ります。

病院は24時間、365日休む事なく動き続け、内発的に多くの問題がおこります。館内のみでは解決が十分でない事もあります。今後は館外の皆様と情報を共有して問題解決に臨みたいと思えます。

好生館は長い歴史に支えられて今日を迎えています。不易流行に学び、変わらず良いものを残し、常に変わって見直しを継続してまいります。好生館の理念に沿って県民の皆様に継続的に良質な医療提供をする事を大基本と致します。

本年も好生館へのご支援ご鞭撻のほど宜しく願いします。





第1回鍋島直正公記念好生館シンポジウムを開催しました



理事室
係長 堤 由起子



好生館は、1834年第10代佐賀藩主鍋島直正公により医学館・医学寮が佐賀市に創設されたことにはじまります。創立記念日を迎えるに当たり、直正公による好生館創設の精神を広く知っていただくとともに、地域医療の中心的役割を担う病院としての更なる発展を願い、12月10日に「鍋島直正公記念好生館シンポジウム」をホテルニューオータニ佐賀で開催しました。シンポジウムでは、東京理科大学副学長の浅島誠氏、陶芸家の井上萬二氏、佐賀大学特命教授の青木歳幸氏、徴古館主任学芸員の富田紘次氏にご講演いただきました。当日は館内外から約300人にご参加いただき、大変充実したシンポジウムとなりました。



県民公開講座について テーマ：「みんながなるの？認知症」

地域医療連携センター
副センター長 園田 美佐枝

11月5日(土)に「みんながなるの？認知症」というテーマで県民公開講座を開催しました。335名と予想をかなり上回る参加者で大盛況となりました。各専門分野の当館の医師3名による講演では、メモを取りながら熱心に聞いておられる聴講者も数多くみられ、認知症への関心の高さがうかがえました。参加型企画として、理学療法士の指導による認知症予防体操を参加者みんなが笑顔で実践されていました。また体脂肪測定や頸部血管エコーを体験して頂き、ソーシャル・ワーカーや栄養士、認定看護師による相談コーナーでは時間ギリギリまで真剣に相談されていました。



がん県民公開講座について テーマ：「がんとともに生きる」を支える ～一緒に考えよう がんのこと～

がん相談支援センター
副センター長 日浦 あつ子



12月3日(土)にがん県民公開講座を開催し、一般参加、スタッフ含め260名の参加がありました。第一部の講演では、宝塚市民病院の緩和ケア病棟で心のケアを行っている沼野尚美氏が「共に支え共に生きる」と題して、実際の事例を通して家族の絆の大切さや同世代の仲間が存在が支えになることを話され、会場は涙と笑いに包まれました。第二部では、当館のがん診療を担う医師5名が「がんの治療をどこまで続けるか」について討論を行いました。がんの種類によって考え方が異なりますが、病気だけではなく生き方の問題として考えることが大切であり、また一人で悩まず主治医だけでなく多職種で相談に対応できることを知ってほしいと伝えました。

患者支援フロアでは、情報共有の場となり多くのがんサバイバーが参加され、お互いを支え合う支援の輪が広がりました。



病理解剖慰霊式が行われました

総務課 庶務係
主事 菊池 智美

病理解剖にご協力いただいた方々を対象にした慰霊式が12月9日(金)に行われました。病理解剖は、病気の原因のほか、死亡にいたった原因を究明し、今後の医療の発展につなげていくものです。

当館では、毎年、病理解剖にご協力していただいた方々に対して心からの敬意と感謝の意を表し、慰霊式を行っています。

ご親族も一緒に参列され今年度は二十二名の御霊を慰霊致しました。



部署別対抗 ボウリング大会開催!!

総務課 庶務係
主事 荒木 椋太



11月25日(金)、ボウルアーガスにて部署別対抗ボウリング大会が開催されました。今回、選手・応援を含め約450名の参加があり、白熱したゲームが展開されました。

どのレーンにおいても、ストライクやスピア・ガーター等で歓声があがり、普段の真面目な仕事姿からは想像できないような一面を見ることが出来ました。

団体優勝はリハビリテーションセンター、個人優勝もリハビリテーションセンターからの受賞となりました。

職員間の絆が大いに深まり、楽しい時間となりました。



想いを形に

形成外科

形成外科
部長

増本 和之



早いもので、当科開設後3年半が経過いたしました。

創傷外科・再建外科・皮膚外科・顔面外科としての役割が、認知されてきていることを実感いたします。皆様のご協力もあり、2014年には日本形成外科学会認定施設となり、乳房再建に関する学会（日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会）が認定する再建症例も本年度で10例を超えました。

4月より専門医1名体制となりましたが、藤井医師が医員として赴任し、「想いを形に」をスローガンに掲げ、新たな体制で、皆様のお役に立てる様、診療を行って参ります。

医科歯科連携の推進に貢献します

歯科口腔外科

歯科口腔外科
部長

野口 信宏



歯科口腔外科が開設されて3年半が経過しました。歯科医師2名の体制です。開設以来外来紹介患者数は順調に増加しています。埋伏歯の抜歯や嚢胞摘出等の外来手術の他、歯を原因とする炎症や顎骨骨折等の外傷にも対応しています。糖尿病、循環器疾患等、様々な疾患を併せ持つ患者さんが増加しており医科の先生方との連携を図りながら診療しています。

特に周術期口腔機能管理についてはこれから力を入れていくべき分野です。悪性腫瘍手術（骨髄移植も含む）、心臓血管手術、がん化学療法が主な対象で、周術期に口腔機能管理を適切に行うことで、治療成績の向上を図るのが目的です。医科歯科の連携がうまくいくよう院内院外のシステム作りを行っていきます。よろしくお願ひします。

今年は自分自身の健康管理を第一に

糖尿病
代謝内科

糖尿病代謝内科
部長

吉村 達



糖尿病は“しめじ”の3大合併症以外に、動脈硬化症、がん、さらに認知症との関連が指摘されています。正月に蓄えてしまった過剰なエネルギーを、今日から消費しませんか。

運動は加齢による筋萎縮や骨粗鬆症の予防に有効です。

また、爽快感など日常生活のQOLを高める効果も期待できます。

好生館では、管理栄養士・理学療法士・薬剤師・看護師・検査技師がチームとなって、皆さんの健康を考えます。

さて、あなたにふさわしい食事・運動は？

*しめじ し:神経障害
め:網膜症
じ:腎症



無菌病棟でのリハビリテーション

血液内科

血液内科
部長

近藤 誠司



当館では平成25年5月より10床の個室からなる佐賀県唯一の無菌病棟が開設されました。

無菌病棟では室内だけでなく廊下、ナース・ステーションもISOクラス7をみたく空気清浄度が保たれています。従来無菌室での治療は個室の限られた空間での生活を強いられてきましたが無菌病棟が開設され患者さんはマスクをすれば治療中部屋の外に出て安全、快適に過ごすことが可能となりました。また日常生活動作改善のためのリハビリテーションをすることにより退院後の日常生活への早期復帰が可能となりました。

血液腫瘍センター（4階西）無菌病棟での患者さんの風景（患者さんは病棟の廊下で積極的にリハビリテーションを行っています。また患者さんは自主的に廊下での歩行やストレッチもされています。）





栄養の豆知識

みかん

～小さいけれど栄養たっぷり～

栄養管理部 管理栄養士 梶 美紗子



寒い日が続くこの時期は、こたつで温まりながら「みかん」を食べることも多いのでは？

みかんの代表的な品種「うんしゅうみかん」は佐賀県も主要な産地の一つです。400年ほど前に中国から伝わったみかんの仲間から鹿児島で偶然発生したとされています。その後、九州各地で栽培されながら突然変異などで品種が増え、明治時代ごろから全国的に栽培されるようになったそうです。

数ある果物の中でも特にビタミンCや食物繊維がたっぷり含まれています。また、抗酸化作用のあ

るカロテノイドの一種“クリプトキサンチン”、さらに、あの白い袋には毛細血管を丈夫にするなどの働きがあるとされる“ヘスペリジン”というフラボノイドの一種も含まれています。おいしいだけでなく、体にとてもうれしい果物ですね。

簡単に手でむくことができ食べやすいところも魅力の一つ。ただし、手が黄色くなるほどたくさん食べるのは少し考えもの。体重や血糖値が気になる方は1日2～3個までにしておくと安心です。この量で1日分のビタミンCを十分確保できます。手軽に栄養を丸ごといただきましょう。



知っていますか？

検査の話



血液検査の報告に必要な時間

検査部 生化・免疫検査部門
主任技師
岸川 恭子



血液検査にはいろいろな種類があり、検査に応じて使用する検体が異なります。血球計数検査（赤血球、白血球、血小板数等）では、採血した血液をそのまま検査するため、短時間で結果を報告することができます。それに比べ、生化学検査（ALT, AST 等）や免疫検査（CEA, AFP 等）は、採血した血液が凝固した後、遠心分離を行って血清を検体とするため、報告するまでに時間を要します。そして、血液が凝固するまでの時間は人によりさまざま、飲み薬（血液を固まりにくくする薬）などの影響も受け報告が前後してしまうこと

もあります。当館では、検査結果を報告するまでの目標時間を設け、検査の進捗を管理しています。例えば、尿検査 30 分、血球計数検査 10 分、生化学検査 40 分、免疫検査 65 分などで、再検査を行うこともあり、この時間内に 60～80%の検査が終了していることとしています。

検査部では、検査の進捗を捉え、より正しい結果をより早く報告できるように日々心がけています。検査結果が揃うまでにはある程度お待ちいただくかないといけません、ご理解、ご協力いただければと思います。



感染制御部だより

冬の感染対策

感染制御部
感染管理認定看護師 三好 恵美子



気温が低く、空気が乾燥する冬は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が流行するシーズンです。感染を防ぐために、右記の事を行いましょ

- 帰宅時、食事の前、食品を扱う前、トイレの後には、流水と石鹸による入念な手洗い
- 咳やくしゃみなどの症状がある場合は、マスクを着用する(咳エチケット)
- 調理時の十分な加熱処理(牡蠣などの二枚貝、鶏肉など)
- 体調がすぐれない時は、できるだけ人混みへの外出は控える
新年会など、人が集まることも多いシーズンです。一人一人が「かからない」「うつさない」ために、感染対策を実践しましょう。

+ 医療安全管理部だより

医療事故調査制度における全死亡症例の報告システム

医療安全管理部
医療安全管理者(GRM) 川内 ひとみ



平成27年10月から「医療事故調査制度」が開始されました。報告すべき医療事故とは「医療に起因する死亡例で、かつ管理者が予期しなかったもの」と定義されています。管理者は死亡例を迅速に把握し、報告

対象者であるかを判断する必要があります。

当館では、全死亡例をCLISTA SEARCH(オンラインデータ抽出システム)によって管理者に報告し、24時間以内にスクリーニングができるようにしています。その後医療安全管理部にて1週間の死亡患者リストをレビュー、さらにクオリティマネジメント委員会で死亡患者サマリーの検証を行っています。3段階のチェック体制で適切な事例選択に努めています。

医療支援部だより

技士認定資格取得状況

MEセンター
技士長 成田 安志



最近では国家資格を取得した上、さらに専門的知識や技術の向上、あるいは教育のため、各分野の学会における専門的認定資格が求められつつあります。我々、臨床工学技士においても同様で例えば、透析関係では透析技術認定士、人工心肺分野では体外循環技術認定士、呼吸器分野では呼吸療法認定士、心血管カテーテル治療分野ではインターベンション技師制度などです。病院側の配慮もあり昨年12月までに、これらの認定資格取得者がのべ9名になりました。

今後もさらに知識を取得し技術を磨き、認定資格取得者が増えるよう努力致します、皆様の御協力を宜しくお願い申し上げます。

今すぐ出来る認知症予防!

リハビリテーションセンター
主任作業療法士 野崎 忠幸



認知症は皆さんにとって関心の高い病気のひとつではないでしょうか? 認知症は記憶能力の低下などが徐々に進行し、65歳以上では約10%に発症するといわれる病気です。高齢者人口の急増とともに今後も増加することが憶測されます。そこで、認知症にならないように予防に努めることが大切です。

認知症予防では、「運動習慣」が大事で、基本は「ウォーキング」などの「有酸素運動」です。適度な運動は、身体そのものが健康的になるだけでなく、筋肉を刺激し、脳の神経細胞を活性化します。また運動に加えて、計算やしりとりなどを同時に行うことや、家族や友人と会話をしながら楽しく運動すると、脳が更に活性化するため、認知症予防に有効と言われています。

開放型病院登録医のご紹介

医療法人大和正信会
ふじおか病院

〒840-0201
佐賀市大和町大字尼寺2685番地
TEL 0952-62-2200

理事長・院長
藤岡 康彦



昭和54年11月に開業して以来、ずっと地域医療と向き合い37年になりました。当院は佐賀県中部に位置し、主な医療圏は佐賀市北部(大和町・高木瀬・金立)です。この医療圏で基幹病院である好生館と連携し、急性期医療から回復期医療そして慢性期医療までの役割を担っています。平成27年4月には地域包括ケア病棟を立ち上げ、リハビリを強化した、より地域密着型の病院となっていることを実感しております。これからも高齢者の方々をはじめ患者様中心の医療を提供し、健康で安心して暮らせる豊かな街づくりに貢献したいと考えております。



社会福祉法人
佐賀整肢学園
こども発達医療センター

〒849-0906
佐賀市金立町金立2215-27
TEL 0952-98-2211

センター長
窪田 秀明



当センターは、昭和35年より障害のある方を中心に、医療・福祉サービスの提供を行っております。医療における入院、外来診療とともに、福祉では肢体不自由児や重症心身障害児者の入所及び通所サービスを併せて行っています。利用者とその家族の思いを我が思いとして、医療・福祉の専門的立場から、その機能と役割を十分に発揮し、地域社会との連携と交流促進に努めて、人を支える、生活を支える施設として事業を推進しております。



医療法人
北島整形外科

〒849-0922
佐賀市高木瀬東2丁目15-6
TEL 0952-30-2657

院長
北島 雅治



昭和44年、父の内科医院の跡に整形外科を開業し47年になります。当時はまだ整形外科は少なく、救急車の受け入れ、手術も多く多忙でした。現在は、手術を要する骨折等は好生館等で受け入れていただき、当院は療養型病床で術後の患者さんのADL向上を目指しています。親子二代、三代で受診される患者さんも多く、地域の方々のかかりつけ医として、微力ながら地域医療に貢献したいと思っております。



最所 医院

〒842-0031
神埼郡吉野ヶ里町吉田826-3
TEL 0952-52-2452

院長
最所 正純



当院は、昭和37年に父が外科の有床診療所として開業しました。平成11年に継承し、現在は内科の無床診療所として診療しています。

医療センター好生館が3年前に移転して、東部地区から若干遠くはなりましたが、無床診療所としては、大変頼りになる病院であることには変わりはありません。

多くの高齢者を診療しているかかりつけ医としては、専門診療科や救命救急センター、特に脳卒中センターは心強い存在です。

今後も、病診連携をよろしくお願いたします。



南 医院

〒842-0053
神崎市千代田町直鳥808-1
TEL 0952-44-2777

院長
南 泰三



平成3年9月に外科の有床診療所を開業しましたが、昨年8月で残念ながら休床と致しました。当時は事故や外傷の患者さんも多く、重症の患者さんは外科・内科の疾患を問わず、大変お世話になりました。好生館の移転で距離的に不便さは否めませんが、全ての科で診療体制が充実し当院でも大いに頼りにしておりますので、これからも宜しくお願致します。今後は総合診療だけでなく、在宅医療、訪問診療でも地域に貢献したいと考えています。



医療法人
山口内科クリニック

〒840-0202
佐賀市大和町久池井987-4
TEL 0952-62-9885

院長
山口 宏和



大和の地に開業して早20周年を迎えました。糖尿病を専門の一つに選んだのは病棟勤務中、脳梗塞や腎不全患者のベースに糖尿病が多かったからです。アレルギーを次の専門にしたのは、当直の時喘息の子供が多く、吸入や点滴で朝まで眠れず苦しんでいる姿を見たからです。今では患者さんの多彩な訴えの背景に、食物・慢性感染・花粉・電磁波・金属蓄積・化学物質などを推定し洋薬と共に漢方薬や生活指導で対処するようにしています。診療の補助手段としては、ニューヨークの大村教授の開発したO-リングテスト(オーリングテスト)を役立てています。

また、有料老人ホームとデイサービスもあります。





地域医療連携センターだより

ピカピカリンク開示情報が増えました

地域医療連携において診療情報をいち早く共有することが重要と考えております。佐賀県診療情報地域連携システム(ピカピカリンク)をご利用して頂ければ、患者の登録をしてすぐに情報を共有することができます。好生館では診療カルテや手術記事、看護サマリーなど閲覧できる情報も増えておりますので、ぜひ参加登録をお願いします。

また、事前時間指定予約システム(カルナコネク

地域医療連携センター

副センター長 園田 美佐枝



ト)への新規お申し込みも受け付けております。

お問い合わせは地域医療連携センターまでご連絡下さい。

連絡先 地域医療連携センター(TEL:0952-28-1495)

地域医療従事者研修会のお知らせ

テーマ:チーム医療と信念対立

～今、医療組織に必要なレジリエンスとは?～

日 時:平成29年1月27日(金)

ご参加お待ちしております。



一般・がん相談支援センターだより

退院支援の体制強化についての 取り組み ～面会強化～

一般相談支援センター

副センター長 田代 加代子



一般相談支援センターでは、医師、看護師、医療ソーシャルワーカーを中心に多職種との連携を図りながら、患者さん・ご家族の希望や病気の状態に応じた療養先を選択できるよう退院支援を行っています。院内にとどまらず地域の連携医療機関との顔の見える関係の構築を目的に、11月16日、佐賀県医療センター好生館にて、脳卒中合同カンファレンス終了後に、好生館退院支援スタッフ(医師、看護師、MSW、PT)と連携医療機関スタッフ(医師、看護師、MSW、PT)で、多職種による地域連携パスワーキンググループでの面会を行いました。地域連携パスの運用について、退院支援に関すること、病院機能についての情報共有について話し合いを行いました。今後より一層、患者さん・ご家族が安心、安全で納得した療養生活ができるよう、地域の社会資源、人的資源を活用して支援を行っていきたいと思います。

CST研修会と緩和ケア症例検討会についての報告とお知らせ

■11月12日(土)・11月13日(日)、「がん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会(CST研修会)」が好生館2階 多目的ホールにて、開催されました。好生館より8名の医師が受講され、講義やグループワーク、インフォームドコンセントの場面を想定したロールプレイと充実した内容での開催となりました。

■11月9日(水)「緩和ケア症例検討会」は、好生館2階 多目的ホールにて、「死にたいほど辛いと言われたら(不安・不眠・恐怖・抑うつなど)」をテーマに、地域より事例提供していただき、グループワークを行いました。95名と院内だけでなく、地域より様々な職種の参加がありました。

お知らせ

平成28年度 緩和ケア症例検討会は、

日時	テーマ
1月18日(水)	終末期の鎮静(辛い症状がこれ以上緩和できないとき)
3月15日(水)	死を学ぶ・死に向きあう(看取りの教育と看取りの実際)

連絡先 一般相談支援センター(TEL:0952-28-1158)
担当/原田

なごみの会新聞の紹介

がん相談支援センター

副センター長 日浦 あつ子



化学療法を受けている方の患者会「なごみの会」では、患者さんの提案で新聞を作成しました。第1号は、患者さんの投稿と10月にアバンセで開催した患者会の様

子、古川医療統括監と中川原理事長のメッセージも掲載しています。なごみの会ではもちろんご覧頂けますが、がん相談支援センターにも置いていますので、是非ご覧ください。皆さんの投稿もお待ちしております。

今後のなごみの会予定

日時 1月18日(水) 14:00～
2月15日(水) 14:00～

会場 好生館2階多目的ホールにて

お気軽にご参加ください。

ベトナムホーチミン市チョーライ病院と友好交流

チョーライ病院と 友好交流協定調印式を 行いました

事務部長 丸野 和年



12月20日(火)好生館はベトナムホーチミン市チョーライ病院と友好交流協定を結びました。好生館は、経済産業省のベトナムにおける日本式医療IT化推進事業の一環として、事業を受託した富士フイルム株式会社が進めているプロジェクトに日本側を代表する病院として協力しています。

平成28年9月に中川原章理事長、相部仁放射線科部長、濱田洋放射線部技師長がチョーライ病院を訪問した返礼として、今回、チョーライ病院のソン病院長他7名のスタッフが好生館を訪問・視察された中で、協定を締結する運びとなりました。

調印式には、チョーライ病院、好生館のスタッフの他、富士フイルム、富士通九州システムズの関係者、今回の事業の管理支援法人であるMedical Excellence JAPANの山本修三理事長、佐賀県健康福祉部久保山善生副部長にも出席いただき、友好交流協定書と富士フイルムを加えた三者の事業推進の確認書にソン病院長、中川原理事長が署名し、今後の医療交流と友好関係を推進することを約束しました。

また、締結後にソン病院長、中川原理事長は佐賀県庁を表敬訪問し、池田英雄副知事に協定を締結し、今後も交流を深めていくことを報告いたしました。



チョーライ病院との 国際交流について

放射線部 部長 相部 仁



平成28年9月19日～20日に中川原理事長、濱田放射線部技師長とベトナムへ出張し、富士フイルムメディカル(株)のスタッフとともにホーチミン市にあるチョーライ病院(CRH)を訪問・視察しました。

現在、ベトナムでは患者さんが一部の公的病院に集中し、医療サービス、医療システムの機能不全が生じており、本プロジェクトはその解決の一助として、CRH外来での単純X線撮影部門の効率化を促進する目的で、患者情報システム・モニター診断・放射線レポートの電子管理を導入し、好生館で行われているのと同様の日本式医療ICT化を図っていくとすることです。この視察では、CRH放射線科外来でのあふれかえる患者さんの列、手書きのX線検査オーダー、撮影前の患者情報のマニュアル入力、手書きの放射線レポート作成(保管レポートなし)、直接患者さんに手渡しされるX線フィルム(これも保存なし)の様子を確認しました。患者情報・画像情報・レポート情報が電子的に管理されていない、手間

がかかり、しばしばミスが生じる、約20数年前の日本の放射線部とほぼ同様の状態でした。

11月には富士フイルムメディカルと富士通によるICTシステムがCRH放射線部に導入され、試験的に運用されています。12月20～21日にはCRH病院長やスタッフ計8名が好生館を訪れ、放射線部、外来化学療法室、緩和ケア病棟、救命救急センター、医療情報サーバー室などを見学し、日本式ICT医療システムの実際を確認し、細かなノウハウを討議しました。放射線部では今後もCRH放射線部のICTシステムがさらに効率的に運用されるよう協力していく予定です。また、今回の訪問ではCRHソン病院長と中川原理事長との間で病院間の友好交流協定が取り交わされました。今後、病院同士の幅広い国際交流を深めていければと思います。



MRI室見学の様子

新任医師 の紹介 11～12月

11月1日付



眼科
医長
福永 由起子

11月1日付



麻酔科
医師
原野 りか絵

12月1日付



麻酔科
医員
織田 寛子

12月1日付



麻酔科
医員
森永 智子



日本の種痘は 佐賀から広がった



副館長 林田 潔

幕末の頃、天然痘が猛威をふるっていました。ジェンナーの牛痘が有効であることはよく知られていたのですが、その種が日本にはありませんでした。嘉永2年(1849)6月インドネシアのバタビヤから長崎出島のモーニッケの元に牛痘の痘痂が届きます。佐賀藩医であった楢林宗建が息子達を連れて行き、モーニッケより接種を受けさせました。8月に宋建と種痘児が佐賀に到着。藩主嗣子淳一郎君に接種しました。この様子が、本丸歴

史資料館にある「種痘之図」に描かれています。この痘苗が江戸へ届き分苗され、伊東玄朴による安政5年(1858)の神田お玉が池種痘所(東京大学医学部の前身)へとつながりました。

我が国最初の種痘が佐賀藩医により成功し、全国へ広がったのです。その後佐賀藩では、種痘の有効性を認め、全領民への種痘の実施が進められました。全国的にも珍しい先進的な取り組みでした。種痘を受けたという証明書が今も残っています。



写真：種痘之図

さがランチ 冬メニュー紹介

地元レストランのシェフからのメニュー提案、JAから購入する生産者の顔が見える食材、好生館の新調理システムとサテライトキッチンを利用した調理・配膳。この3者の共同で始まった地産地消メニューがさがランチです。今回は12～2月に提供する冬メニューを紹介します。



§冬メニュー§

- ・白身魚のフリカッセ 旬の地元冬野菜の蒸し煮添え
- ・スープ・ミネストローネ
- ・パンナコッタ・ベリーソース
- ・さがレトロ館オリジナル米粉パンまたはスローフード
大賞受賞者の十三穀米ごはん

★冬メニューのコンセプト

「魚や鶏からとったスープで、旬の県産野菜のおいしさを引き立てる」

<使った県産食材>

肥前さくらポークのベーコン、玉ねぎ、小松菜、かぶ、にんじん、さつまいも、れんこん、ブロッコリー、キャベツ、なす、一の塩、米粉パン、米、十三穀物米

<作り方(4人分)>

○白身魚のフリカッセ 旬の地元冬野菜の蒸し煮添え

白身魚切り身(鯛) 60g 4切/白ワイン 小さじ4

小麦粉 大さじ3杯半/無塩バター 大さじ2と小さじ1/
サラダ油 大さじ2と小さじ1/フュメドポワソン(魚のだし)
2カップ/塩 2.5g/生クリーム 大さじ1と小さじ1/
玉ねぎ 40g

マッシュルーム 2個/無塩バター 小さじ1/白ワイン 大
さじ3/生クリーム 大さじ1杯半/レモンの皮(すりおろし)
少々/こまつな 60g/かぶ 80g/にんじん 80g/さつまいも
80g/れんこん 40g/ブロッコリー 40g



①魚は白ワインをふって蒸す。

蒸汁は取っておく。

②鍋にバター、サラダ油を入れて火にかけ、小麦粉を加えてなめらかになるまで焦げないようによく混ぜる。フュメドポワソンと①の蒸汁を加えてさらに煮る。

③別鍋にバターを溶かし、玉ねぎとマッシュルームを炒めて白ワインを注ぎ、アルコール分を煮飛ばす。②をざるでこしながら加えて一煮し、塩で味を調える。火を止める前に生クリーム、レモンの皮のすりおろしを入れて一煮する。

④野菜は食べやすい大きさに切って蒸す。

⑤器に野菜と魚を並べて③のソースをかける。

<ワンポイント>

○ソースには牛乳は使わずに、とれたての地元旬野菜を彩りよく合わせ、見た目も冬らしく仕上げました。

※好生館では一般家庭にない厨房機器で作っています。このレシピは家庭で作る場合の方法です。

・詳しくは、当館 HP「佐賀県の食と健康」サイトをご覧ください。
http://www.koseikan.jp/sagafood_health/index.html

外来医師一覽表

(平成29年1月1日現在)

※都合により不在または変更になる場合がありますので、該当科にご確認ください。

電話：0952-24-2171 (おかけ間違いのないようお気を付け下さい。)

診療時間は原則として、月～金曜日の9時～13時です。(受付時間は8時30分～11時です。)土・日曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休診です。

区 分		月	火	水	木	金	
内 科	総合内科	新患 池田 園子 再来 松石 英城	池田 園子 松石 英城	松石 英城 池田 園子	池田 園子 松石 英城	松石 英城 —	池田 園子 —
	呼吸器内科	新患 小宮 奈津子 再来 久保田 未央	小宮 奈津子 久保田 未央	岩永 健太郎 加藤 剛	加藤 剛 岩永 健太郎	久保田 未央 加藤 剛	久保田 未央 岩永 健太郎
		肝胆膵内科	河川 康典/中下 俊哉	古賀 風太	中下 俊哉/桑代 卓也	河川 康典/桑代 卓也	河川 康典/古賀 風太
	消化器内科	新患 当番医 再来 中山 敦史	当番医 中山 敦史	当番医 緒方 伸一	当番医 富永 直之	当番医 緒方 伸一	当番医 行元 崇浩
		ピロリ外来(完全予約制)	—	—	—	中山 敦史(午前)	—
	血液内科	新患 再来 横尾 眞子	近藤 誠司 横尾 眞子	横尾 眞子 権藤 久司/久富 崇	久富 崇 近藤 誠司	近藤 誠司 久富崇/移植後ホド-アフ外来(午後)	*横尾 眞子(*第1-3-5金曜)/ *久富 崇(*第2-4金曜)
		腎臓内科	力武 修一	中村 恵	—	力武 修一	中村 恵
	糖尿病代謝内科	吉村 達(新患のみ)	吉村 達	吉村 達	吉村 達(新患のみ)	吉村 達	—
	腫瘍内科 (予約・紹介)	新患/コンサルト 再来	大塚 大河	小橋 真典	嬉野 紀夫/小橋 真典	嬉野 紀夫	大塚 大河 小橋 真典
		再 来	嬉野 紀夫/大塚 大河	嬉野 紀夫/小橋 真典	嬉野 紀夫/小橋 真典	嬉野 紀夫/大塚 大河	大塚 大河/小橋 真典
	感染症(予約・紹介)	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美	福岡 麻美
	膠原病・リウマチ (14:00～16:00)	(第2・第4 金曜日) (毎週 金曜日)					多田 芳史
	消化管内視鏡 (責任者)	緒方 伸一	河川 康典	緒方 伸一	中山 敦史	緒方 伸一	
	気管支鏡	加藤 剛	—	久保田 未央	岩永 健太郎	—	
	腹部エコー	桑代 卓也 古賀 風太	*中下 俊哉/ *桑代 卓也 (*隔週で交代)	河川 康典 古賀 風太	中下 俊哉	中下 俊哉 桑代 卓也	
	透 析	中村 恵	力武 修一	中村 恵/力武 修一	中村 恵	力武 修一	
	小 児 科	午 前 (専門外来については小児科外来に お問い合わせください)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
		午 後 (完全予約制)	アレルギー外来(第1・第3) 乳児健診 予防接種	神経外来(当館医師) 内分泌外来 神経外来(当館医師) 神経外来(医大医師第2・4) 内分泌外来/予防接種	循環器外来 循環器外来 予防接種	1ヵ月健診	アレルギー外来 心身症外来 血液外来
循環器内科	午 前	江島 健一 古関 靖章	吉田 歌規 中村 郁子	吉田 歌規 中村 郁子	古関 靖章 中城 総一	林田 潔 江島 健一/秋山 雄介	
	不整脈外来(午前) ペースメーカー外来(午前・予約制)	山口 尊則	—	—	—	山口 尊則(第3金曜日休診)	
精神科	午 前(完全予約制) 再診 月～金 8:30～12:00 初診 月～金 12:00～13:00 午 後	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 非常勤医師	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 石井 博修	石丸 正吾 石井 博修	
	各病棟(精神科コンサルテーション・リエゾン)						
放射線科	放射線診断 ・IVR	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	相部 仁 安座間 真也 西原 雄之介 森田 孝一郎 他	
	放射線治療	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	渡辺 哲雄	
脳神経内科	午 前	新患/再来 高島 洋	高島 洋	小野 南月	小野 南月	高島 洋	
	午 後 (14:00～16:00) パーキンソン病外来(予約制)	検査・処置 —	回 診 —	検 査 —	回 診 高島 洋	検 査・処置 —	
脳血管内科	午 前	上床 武史	杉 森 宏	東 英司	上床 武史/榊 佑介	杉 森 宏	
緩和ケア科	午前(再診) 午後(新患)	完全予約制 —	小杉 寿文/錦池 直邦 久保 麻悠子	—	小杉 寿文/錦池 直邦 久保 麻悠子	—	
禁煙外来	午 後	完全予約制 —	岩永 健太郎(14:30～16:30)	林田 潔(13:30～15:30)	寺崎 泰宏(14:30～16:30)	—	
外 科	消化器外科	新患 再来	田中 聡也 佐藤 清治	平木 将紹 姉川 剛	久保 洋 池田 貯	池田 貯 平木 将紹	姉川 剛 田中 聡也
		肝胆膵外科	新患 再来	三好 篤 —	北原 賢二 —	三好 篤 久保 洋	北原 賢二 —
	乳腺外科	—	—	手術	白羽根 健吾/藤野 稔	手術	白羽根 健吾/藤野 稔
	呼吸器外科	新患 再来	手術	寺崎 泰宏	手術	寺崎 泰宏	手術
	小児外科	新患 再来	村守 克己 福田 篤久	—	上杉 達	福田 篤久 村守 克己	手術
眼 科	午 前	手術	古賀 隆史/福永 由起子 寒竹 大地/高木 由貴	手術	古賀 隆史/福永 由起子 寒竹 大地/高木 由貴	古賀 隆史/福永 由起子 寒竹 大地/高木 由貴	
	午 後	検査	—	検査	—	—	
産婦人科	午 前	婦人科 産科	金井 智之/八並 直子 光 貴子	安永 牧生/川崎 いずみ 室 雅巳	—	安永 牧生/光 貴子 川崎 いずみ	
	午 後	婦人科(紹介・予約) 産科(紹介)	川崎 いずみ 室 雅巳	光 貴子 室 雅巳	手術日 (急患のみ担当者)	室 雅巳 手術日 (急患のみ担当者)	
(14:00～16:00) 午後の診療枠は紹介状のある新患あるいは予約のある再来患者のみです。							
耳 鼻 いんこう科	午 前	—	宮崎 純二/大橋 充 嶋崎 絵里子	—	宮崎 純二/大橋 充 嶋崎 絵里子	宮崎 純二/大橋 充 嶋崎 絵里子	
	午 後	手術	回診・検査	手術	回診・検査	回診・検査	
泌尿器科	午 前	徳田 倫章/猪俣 大 内野 洋志/村上 知彦	徳田 倫章/猪俣 大 内野 洋志/村上 知彦	手術	徳田 倫章/猪俣 大 内野 洋志/村上 知彦	手術	
歯科口腔外科	午前 午後	完全予約制 野口 信宏 佐野 直人	野口 信宏 佐野 直人	野口 信宏 佐野 直人	野口 信宏 佐野 直人	野口 信宏 佐野 直人	
形成外科	午 前 午 後	増本 和之 外来手術	手術	回診 フットケア外来	手術	藤井 達哉 外来手術	
皮膚科	午 前(紹介のみ)	古場 慎一 外来手術(午後)	手術	古場 慎一 外来手術(午後)	古場 慎一 外来手術(午後)	手術	
整形外科	一般整形	前 隆男/塚本 伸章 屋良 卓郎/当番医	手術	前 隆男/佛坂 俊輔 小宮 紀宏/当番医	佛坂 俊輔	塚本 伸章/小宮 紀宏 屋良 卓郎	
	脊 椎	加藤 剛	—	加藤 剛	—	加藤 剛	
脳神経外科	午 前	松本 健一	高松 裕一郎	坂田 修治	—	溝上 泰一郎	
	午後 専門外来	予約のみ (水頭症外来)坂田 修治 (脳腫瘍外来)高松 裕一郎	—	(脳動脈瘤外来)松本 健一	手術	(脳血管内治療外来)溝上 泰一郎	
心臓血管外科	午 前 午 後	手術	内藤 光三 里 学	手術 (午前中 紹介・予約 榎木 等)	内藤 光三 里 学	手術	
人 間 ドック	一 般	林田 潔	井之口 香映子	権藤 久司	権藤 久司	井之口 香映子	
	脳ドック 心臓ドック	高島 洋	坂田 修治	杉 森 宏	上床 武史 榎木 等/林田 潔	高島 洋	
看護専門外来	完全予約制	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	江口 忍	